

令和7年度 県立神奈川工業高等学校（全日制・定時制）不祥事ゼロプログラム検証結果

① 法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）

目 標	教職公務員としての「報告・連絡・相談」を心掛け、法令遵守の意識を持って行動する。	実施状況及び検討課題	検証結果
行動計画	① 職員啓発資料やヒヤリハット事例集などを参考に、不祥事防止会議等を利用し、職場研修を行う。 ② 社会の目が向けられていることを常に意識し、法令を遵守した正しい行動をとる。	① 職員啓発資料を使い各グループから業務に係る内容の発表を行った。 ② 職員同士や管理職とのコミュニケーションを大切にされた職場環境を作ることで相互牽制の役割も担う環境づくりを進めた。	良好である

② 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止

目 標	人権に配慮し他者を尊重することで、ハラスメント行為を未然に防止する。	実施状況及び検討課題	検証結果
行動計画	① 自らの言動について日常的に意識し、人権に対する正しい見識を持つ。 ② 人権研修会等を通して、社会人かつ教育に携わる者として説明責任が果たせる行動・言動かを考え実践できるよう促す。	① 人と接する仕事ということに日頃から意識を持ち、個々の違いに理解を深めることで、人権に対する見識を深めた。 ② 人権研修会を通じて、教育に携わるものとして日頃からの行動に注意を向けることで、行動・言動への意識の向上を図った。	良好である

③ 児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止

目 標	行動規範と相互牽制を意識し、わいせつ・セクハラ行為について未然に防止する。	実施状況及び検討課題	検証結果
行動計画	① 具体的事案を示した事故防止研修を実施することで当事者意識を持たせる。 ② 生徒とのSNS等の利用禁止を徹底し、連絡手段としてGoogle classroomなどを適切に利用することで、不適切な対応を未然に防ぐ。	① 事故防止研修を通じて行動規範について理解を深め、職員同士が相互牽制できる環境づくりを進めることで、各々の教員がわいせつ・セクハラ防止に対する意識の向上を図った。 ② 公務用メールアドレスだけでなく、複数の職員をメンバーにいたれたクラスルームの活用を行うことで、職員の意識を高めた。	良好である

④ 体罰・不適切な指導の防止

目 標	生徒の人権を尊重する姿勢を徹底させ、体罰・不適切指導を未然に防止する。	実施状況及び検討課題	検証結果
行動計画	① 事例集などを参考に不祥事防止研修を行い、人権や人格を傷つける態度や発言を防止し、適切な指導が行える環境を整備する。 ② 生徒の情報交換会を行い適切な指導への理解を深めるとともに、対応時は複数で行うことを徹底する。	① 生徒への対応には複数の教員で行い、指導体制を整えることで適切な指導に努めた。 ② 担任だけでなく、教科担当等の関わりある教員からの情報を共有することで、生徒一人一人の特性を尊重し適切な指導に充てた。	良好である

⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

目 標	定期試験、成績処理、調査書、入学者選抜業務における事故を未然に防止する。	実施状況及び検討課題	検証結果
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 事例集などを参考に不祥事防止会議等を行い、職員一人ひとりが事故防止への意識付けを行う。 ② 各業務についてマニュアルをもとに業務遂行の徹底を図るとともに、複数の目でチェックできる体制づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 不祥事防止研修をもとに、定期試験や成績処理についてマニュアルをもとに複数のチェックを行うことで事故防止への意識付けを行った。 ② マニュアルをもとに実施を行い、複数での作業を行うことで相互にチェックを行った。 	良好である

⑥ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

目 標	個人情報の適切な運用を図り、流失や誤廃棄を未然に防止する。	実施状況及び検討課題	検証結果
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 校務の中で取り扱う個人情報は、鍵のかかるロッカーで管理することを徹底する。 ② 生徒の個人情報が、誤廃棄や消失等で流出することの無いよう保管管理や廃棄についてルールを徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 個人情報の管理について職員全体で共通認識を持ち、適切な管理に努めた。 ② 持ち出すことを原則避けるとともに、やむを得ない状況の際には管理職への申請を徹底した。 	良好である

⑦ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

目 標	交通事故の発生を防止するとともに、酒酔い、酒気帯び運転を撲滅する。	実施状況及び検討課題	検証結果
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 日頃から交通法規を守ることに意識をおき、安全運転を行うことで事故防止の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員啓発資料等による研修を実施し、具体的事例を交えた話を聴くことで法令を遵守するよう徹底した。 	良好である

⑧ 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）

目 標	業務執行体制の適正化を図り、業務の協力体制を確認し、効率化と事故防止を図る。	実施状況及び検討課題	検証結果
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 業務の遂行に当たっては、情報の共有と管理職への迅速な「報告・連絡・相談」を徹底し、複数の職員による確認体制を実践する。 ② 校務等において情報の適切な共有を図り、保存・継承に努め、業務の効率化を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 業務の遂行には複数人で分担して当たることで、確認体制が取れ、一人の負担が増えないような環境作りを図った。 ② 校務資料の保存先の指定と共有を図り、引継ぎをスムーズに行う環境を整えるとともに、各種様式を共有することで、初めての人でも業務に滞りがおきないような環境づくりを進めた。 	良好である

⑨ 財務事務等の適正執行

目 標	私費会計の執行を適正に行い、事故を未然に防ぐ。	実施状況及び検討課題	検証結果
行動計画	① 団体徴収金、学校徴収金に係る会計の適正な管理と執行についてマニュアルを活用し、不適切会計とならないよう注意喚起を図る。 ② 諸会費(私費)口座振替の業務管理については、相互確認体制を行い、適正かつ厳正な点検を実施することで事故防止に努める。	① 私費会計管理全般について、職員会議及び事故不祥事防止研修会を通じて全職員へ周知を実施した。 ② 学校管理運営グループより私費会計運用手順について周知するとともに、会計伝票作成手順を全職員に徹底させることで不適切会計の防止に努めた。	良好である

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題（学校長意見）

すべての項目について、「良好である」と評価する。

令和7年度においては、不祥事防止のための9つのテーマについて、不祥事防止研修を毎月実施し、各グループが校内業務における注意すべき事項に沿って研修を展開した。研修資料として教育局から提示された不祥事防止職員啓発・点検資料等を用い、職員が自らの言葉で研修を展開することにより、不祥事防止を自分事として捉える意識が喚起され、研修効果を高めることができた。

また、日頃から職員が互いに声を掛け合うことで、明るく風通しのよい職場づくりを推進しており、その取組が円滑なコミュニケーションと不祥事防止につながっていると考える。

令和8年度においても、生徒等の人権尊重と法令遵守を意識し、不祥事根絶に向けた組織的な取組を一層推進する。